

ます。

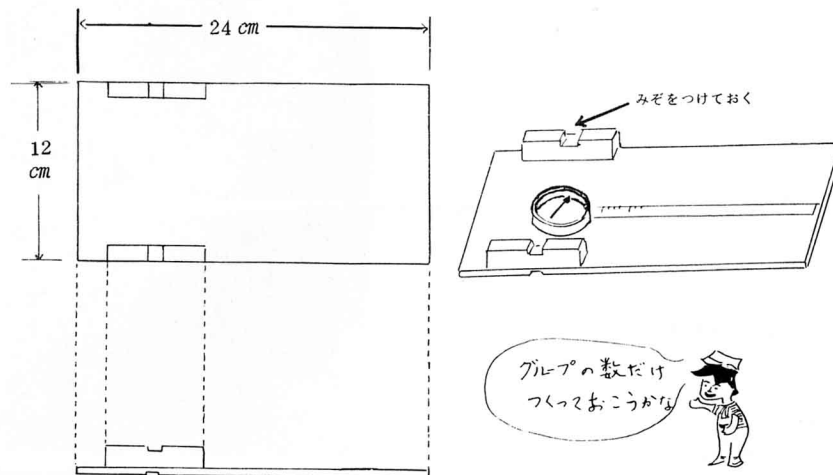


図-16

図-16に示すような板に方位磁針とスケールを取りつけたものをつくります。そして、これを図-17のように、磁針がスケールに直交する直線LMにぴったりあわせるように、装置をセロテープで机面に固定します。

更に、電磁石コイルをスケールに沿うようにしてセロテープで固定します。

次いで、写真-10に示すように、電磁石コイルに電流計を直列につないで、これに電源装置のDC端子から電流を流してやります。

この場合、電流を0.2 A, 0.4 A………
…というように変えてみて、それぞれの場合の磁針のふれの角を測定します。そして、電流の強さとふれの角の関係をグラフに書けば、これから、電流の強さと、磁力の関係が判断できようというわけです。

図-18に、実測例を示しておきました。

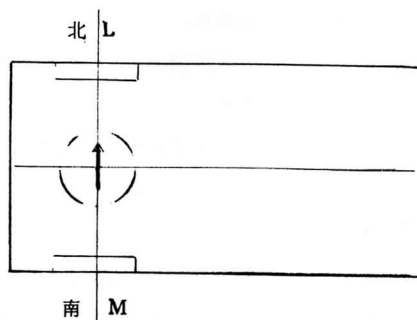


図-17